

「七夕の絆」仙台七夕まつり支援報告 期間 2011.8. 6, 7

天の川七夕星まつりの会 代表 鳥居貞義

天の川七夕星まつりの会では3月11日の東日本大震災発生の日から「仙台七夕まつり」が今年も継続して開催出来ることを願い乍ら支援活動を開始しました。2007年7月7日に交野が原(大阪府枚方市・交野市共催)で開催された第10回全国七夕サミットで生まれた「七夕の絆」がより具体化できるように活動を始めました。まずは枚方・交野両市長・両市議会議長の直筆メッセージと市民の寄せ書きに募金を添えて贈ることを決意しました。枚方・交野両市長のメッセージが一枚の紙に書かれることは希有なことでした。(仙台商工会議所機関誌「飛翔」震災復興特別号表紙)

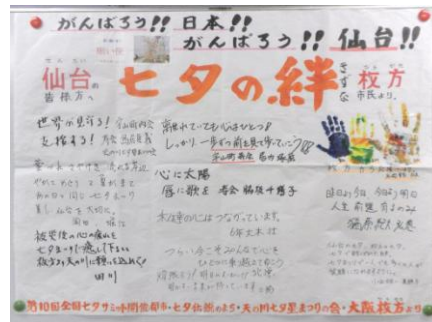
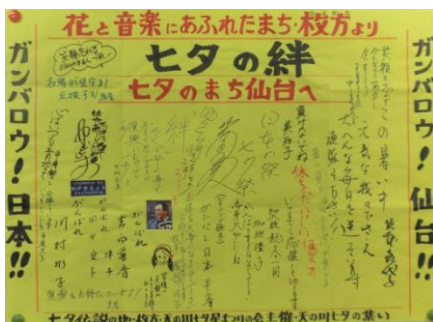


奥山仙台市長宛て親書

竹内枚方市長宛て返書

仙台商工会議所貴賓室にて

募金を開始したのは4月3日に開催した天の川七夕ロマンウォークから、七夕技芸展、七夕歌の集い、笹飾り等、毎年の行事の他に講演会、同窓会、クラブ活動、町内会等々で作成した仙台・東北を励ますメッセージの寄せ書きと並行して行いました。募金活動は既に日赤・NHK・町内会等を通して行われておりましたが、仙台を元気付けるのは七夕まつりの継続した開催が最も有効な手段であるとの思いから全て仙台七夕まつり実行委員会に直接届けることにしました。



七夕歌の集い

宇山町内会

七夕ウオーキング

まずは10万円を集めることを目標にはじめましたが既に“募金疲れ”もあり4月だけで10万円を集めることは容易ではありませんでした。そこで数字の語呂合わせで復興に因んだ数字として第1回の送金は29500円とし、以降毎月同額を贈る決心をしました。最も効果的であったのは各団体で行ったチャリティー講演の講演料でした。講演会や卓話が出来たのは「七夕の絆」支援と云う目標があったからで、それまでこれ程毎月講演(卓話)したことはありませんでした。

両市長のメッセージに始まった寄せ書きと七夕共賛金(募金)の送金の締めくくりとして8月6日から3日間開催された仙台七夕まつりに参加することで七夕の絆に旅の力を加えることでした。老若男女(20代から80代の男女3名)計6名の有志で8月5日大阪発の夜行バスで1泊3日

仙台直行の旅が始まりました。夜行バスは約12時間825Kmの距離を順調に進み、ほぼ定刻の8時27分にJ R仙台駅に近いバスターミナルに到着しました。仙台商工会議所のアドバイスによりレンタカー（8人乗りのワゴン）で移動をすることを決めていたのですが、土地勘がなく特に被災地への移動には多少の不安がありました。このような時は全国に約5000人居る現役時代の会社のOBに情報をえることでした。最初に頼んだ同期の東北営業部長 A さんの公用車の運転手 K さんにアドバイスを貰うことにしたのですが K さんからの返事を待ち兼ねて、東京在住の後輩に連絡とったところ、仙台在住の O さんと連絡が取れたとの朗報が入りました。今回の旅では O さんと K さんから支援を頂いたお蔭で誠に効率よく行動することが出来ました。

到着後、駅近くホテルで洗面と朝食を済ませた後、まずは仙台商工会議所の I さんに持参した市長メッセージの交換と短冊、そして既に贈ってあった七夕技芸展に出品した折鶴（連鶴）の贈呈、寄せ書きの展示場所などを確認後、直ちに「祈りの広場」（展示会場）で作業に取り掛かりました。



「祈りの広場」で「七夕の絆」ポスターの展示とメッセージに見入る仙台市民

展示会場には東京から TV(めざましテレビ)が取材に来ていたので取材に応じることにしました。「めざましテレビ」は 2007 年の七夕サミットの時にも取材があり全国放映されました。「七夕の絆」というキャッチフレーズ 世界各国から届けられているメッセージをテーマに取材していたので枚方から持参した英文の短冊も取材提供しました。展示については色々な場面で神戸からのものが優先されており、絆の強さを感じました。それでも我々のアクションが最も早かったようで、仙台商工会議所5月発行の機関誌（震災復興特集号）の表紙に我々が送った「七夕の絆」のメッセージが掲載されていました。4月に編集された時点では神戸からのものよりも早かったようです。

竹内枚方市長からの親書に対する奥山仙台市長からの返書の中に‘物心両面にわたる濃やかなお心遣い’と‘細やか’で無く、‘濃やか’の文字を選んで頂いたのは誠に有難いことでした。



拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
さて、このたびは、仙台七夕まつりの開催にあたり、多大なご支援を賜りましたことに対し、心より厚くお礼申し上げます。
お陰様で、期間中は事故も無く、天候にも恵まれ、入出の方も予想の百七十五万人を大きく上回る二〇二万人を数え、成功裡に終了することができました。
今回の七夕では、皆様からのご支援をはじめ、国内外より多数寄せられた、東日本大震災からの復興を願う折り鶴や短冊などは、訪れた被災者や市民に前に踏み出す勇気と感動を与え、多くの観光客にも応援の気持ちを伝えたものと思っております。
地域の伝統を受け継ぐお祭りは、人々の心に希望と元気を与えます。
東日本大震災による被害は甚大ではありますが、七夕まつりを復興の足がかりとし、全国の皆様からのお力添えをいただきながら、被災地が一点となって復興に向け、一歩一歩確実に歩んで参りますことを、皆様にお誓い申し上げますとともに、今後とも、仙台市、宮城県はもとより東北の復興のため、引き続き、皆様のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。
時節柄お忙しいこと存じますが、くれぐれもご自愛の上、ますますのご活躍を心よりお祈り申し上げます。
略儀ながら、書中もあまして御礼申し上げます。
平成二十三年八月
仙台七夕まつり協賛会会長
仙台商工会議所会頭
敬具

会頭からの礼状

仙台空港及び周辺写真 被災地写真と地図（名取川周辺）



我がレンタカーで視察した行動範囲
被災地県道 10 号線
塩釜～亘理線の内
亘理町～仙台空港～名取川越え～仙台港
仙台市；仙台市宮城野区港
名取川；仙台市若林区、荒浜周辺
仙台空港；岩沼市、相の釜周辺
秋保温泉；太白区、秋保湯元、



2 か月後の水が引く前の状況（上下の写真及び地図は **Web** に掲載されていたものです）



下の2枚の写真は5ヶ月後、同じ船と家を撮影方向を変えて撮影しました。



仙台市内は神戸（震災翌日に現地訪問した）の時と比べてビルの崩壊は全く見当たらなかった。5か月を経過しているとは云え、直下型縦揺れ(神戸)と横揺れ(東日本)の違いを感じた。地震の揺れよりも津波の被害の方が遥かに大きかったことを確認しました。

神戸市からのメッセージ



仙台商工会議所玄関にて(20代～80代の有志6名と現地参加のKさん)



被災地支援キャッチコピー（NHKにも投稿しました）

和文 作成 鳥居貞義 決してあきらめなかった なでしこジャパン・澤穂希 18年 はやぶさ・チームいとかわ 7年 決して忘れない 東日本大震災 決してあきらめない 東日本復興	English by E.S.Torii Never give up ! Ms.Homare Sawa ,captain of Nadeshiko Japan, FIFA World Cup, for 18 years. Team-Itokawa, suporter of MUSES-C Hayabusa, for 7 years. We'll never give up! Everybody, Let's Ganbaro !	中文 翻訳協力 劉・庄老師合作 不屈不撓 日本女子足球队の 泽穂希 18年圆梦世界杯 小行星探测器“隼鸟号”发射成功 丝川团队辛苦奋斗七载 决不会忘却 东日本大地震 决不放弃希望 东日本复兴
---	---	---